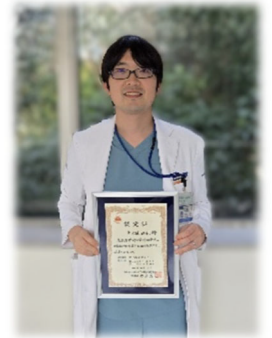


2015年卒の大久保直紀です。

このたび2025年度の専門医移行試験に合格し、2026年度から緩和医療学会緩和医療専門医として認定されました。

以前緩和医療学会の認定医を取得した際も述べましたが、近年では緩和ケアはがんと診断された時点からがん治療と並行して行うものとされます(下図参照。当院緩和医療科HPより引用)。まさにがん治療と緩和ケアは切っても切れない関係であり、特に腫瘍内科医には緩和ケアの知識、経験は非常に重要なものと考えられます。



ところがこの2つの分野の専門医であるがん薬物療法専門医と緩和医療専門医を両方取得している医師というのは驚くほど少ないのが現状です。全国の中ではそれぞれの専門医がかなり多い方である神奈川県内でも両方取得しているのは私を含め数人しかおりません。

難関の資格を2つ取得できたことで、当院の臨床腫瘍科と緩和医療科のそれぞれの指導体制、また2科の密接な協力体制を証明できたようで誇らしく思います。今回の緩和医療専門医取得のためにローテートを快く受け入れてくださり、臨床や学会発表に関して指導してくださった緩和ケアチームの皆様はこの場をお借りしてお礼申し上げます。

今後はこの知識、経験を目の前の患者様へ還元するのはもちろん、後進の指導を行い、それぞれの専門医の育成にも携わっていただければと考えております。

臨床腫瘍学や緩和医療学に興味がある先生方、それぞれの専門医取得を目指す先生方はぜひ当科での研修をご検討いただければと思います。

